

令和4年度事業計画書

公益財団法人鳥取県魚の豊かな川づくり基金の事業は、鳥取県の河川及び湖沼における水産資源の保護や増殖を図り、魚の豊かな川づくりを推進するほか、県民が豊かな自然環境の中で水や魚に親しむ機会の提供を促進すること等により、内水面の漁業振興及び地域の活性化に資することを目的とする。

この目的に沿って実施する事業は、増殖促進事業、ふれあい事業、普及啓発事業の3つの公益目的事業であり、当該年度の各事業内容等については次のとおりとする。

〈公益目的事業1：県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖促進に関する事業〉

1 増殖促進事業

県内の内水面漁業協同組合（以下「内水面漁協」という。）が河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために実施する、淡水魚介類（アユ、ヤマメ、ウナギ等）の種苗の放流及び水産資源の確保のための事業（産卵場造成、カワウの追払い等）に対し、事業費の一部を助成する。

なお、この事業は、種苗放流と水産資源の確保のための事業を併せて実施することを採択条件としている。

また、近年のアユの遡上不良の状況に鑑み、当該年度と翌年度の2年間、千代川、天神川、日野川水系の河川の漁業協同組合に限り、従来の方で分配した助成費に加えて、「アユ資源緊急対策等応援事業費」としてそれぞれ1,000千円（上限額）を上乗せすることとする。

予算額：10,779千円

[助成計画]

実施主体	助成額
千代川漁業協同組合	3,393,000円
天神川漁業協同組合	2,367,000円
日野川水系漁業協同組合	3,619,000円
湖山池漁業協同組合	692,000円
東郷湖漁業協同組合	708,000円

〈公益目的事業2：県内の河川及び湖沼における水生動物等に親しむ機会の提供の促進に関する事業〉

2 ふれあい事業

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協が河川又は湖沼において実施する、地元の住民を中心とした魚のつかみ取り、放流等を行う下記14実施主体が実施する事業に対し、事業費の一部を助成する。

なお、この事業は前年度中に公募し、応募のあったすべての事業について理事会で審査・選定を行い、助成先及び助成額（上限額）を決定する。

また、市町村が実施主体の事業については、当基金から直接助成（3市町：115千円）し、民間団体等が実施主体の事業については、鳥取県からの補助金を活用（11団体：427千円）する。

予算額：542千円

[助成計画]

実施主体	助成額
鳥取市	15,000円
八頭町	50,000円
若桜町	50,000円
河原町あゆ祭企画実行委員会	50,000円
国府フィッシングフェスタ実行委員会	50,000円
小鷲河ふる里をまもる会	50,000円
佐治ふるさと祭り実行委員会	50,000円
三滝まもり隊	38,000円
智頭町親水公園連絡協議会	25,000円
高勢地域協議会	25,000円
竹田地域協議会	20,000円
みささ村地域協議会	25,000円
江府町観光協会	50,000円
日野川水系漁業協同組合	44,000円

〈公益目的事業3：県内の河川及び湖沼に関する水産資源の保護培養のための普及啓発に関する事業〉

3 普及啓発事業

県内の河川及び湖沼において円滑に水生動物等にやさしい生息環境づくりを推進していくため、各関係者が情報共有、学ぶ機会となる講演会等を鳥取県と共同で開催するほか、内水面に関する規則等を掲載した県内の主要河川水系等のマップを作成する。

予算額：106千円（マップ作成費用）

〔実施計画〕

(1) 現地指導会の実施（講演会に代わるもの）

今般のコロナウィルス感染症の感染状況を踏まえて、令和3年度は、毎年度開催している内水面の漁業振興の一助とするための内水面の諸課題に関する講演会に代わって現地指導会を実施した。当該年度においても、参加者を関係者に限定して、昨年と同じ講師から直接現地の河川で指導を受けながら実際に作業を行う現地指導会とする。実施に当たっては、鳥取県の水産課と連携する。

(2) マップの作成

県内の主要河川、湖沼における禁止規則、区域等を記載した「マップ」を最新の情報に修正し、市町村、内水面漁協、遊漁証取扱先等に無償配布する。

なお、作成したマップは、当基金のホームページにも掲載する。

〈作成予定部数〉

- ・天神川水系川マップ：2,500部
- ・日野川水系川マップ：2,000部
- ・湖山池マップ：150部
- ・東郷池マップ：50部